

明野歴史民俗資料館 第12回企画展 ほくと文化財の家

前号に続いて、明野歴史民俗資料館 第12回企画展「ほくと文化財の家」のご紹介をします。前号では、国指定重要文化財の「八代家住宅」と「旧平田家住宅」の説明をしましたが、今回は、「北原家住宅」と「台原家住宅」について取り上げます。

(内海)



◆北原家住宅◆ 北杜市白州町【山梨県指定文化財】

建物規模【桁行:29.09m 梁間:18.18m】銅板葺き(当初板葺き石置き)切妻造り
寛延2年(1749)頃、信州高遠栗田で酒造業を営んでいた北原伊兵衛が、所用の際に一泊した台ヶ原に休醸中の酒屋があるのを知り、土地建物および酒株を買受け創業したのが始まり(現七賢醸造元)。明治13年(1880)6月、明治天皇の巡幸の際に行在所(※)として使用された。家相図より、現在の母屋は天保12年(1841)から嘉永7年(1854)の間に建てられたと考えられる。

※天皇行幸の際の仮の住まい

◆台原家住宅◆ 北杜市白州町【北杜市指定文化財】

建物規模【桁行:15.45m 梁間:9.09m】銅板葺き(当初板葺き)切妻造り

台原家は、安政元年(1854)生まれの当主が医者になるまで、台ヶ原宿にある荒尾神社・田中神社の神主を勤めた家柄。家に伝わる系図より、台原家住宅は元禄13年(1700)の建立と考えられる。屋根は当初板葺きで、板材には栗が使われていた。

※「台原家住宅」は、個人住宅のため通常公開はしていません。



○手斧と鉋

材木の表面を平らに削る道具として、古くから手斧が使われてきた。手斧より、より滑らかに削れる道具として鉋が発達し、室町時代には台鉋が登場したが、民家建築に取り入れられるのは遅く、江戸時代に建てられた家でも手斧仕上げの柱を見ることができる。

写真:【手斧削りの柱】台原家住宅



○竿縁天井と根太天井

「竿縁天井」は、梁から釣り込んだ化粧の釣り天井であり、接客用の部屋に使われる。「根太天井」は、上階の部屋の中央にかかる床梁に、「根太」と呼ばれる横木を一尺(約30cm)から一尺五寸程度の間隔で垂直に渡し、その上に上階の床板を張る。居間や寝室などの実用的な部屋に使われる。

写真:【竿縁天井と根太天井】

古民家見学ポイント

○養蚕と民家

養蚕が盛んになると、棟に換気のための高窓をつける、湿度の低い中二階辺りの屋根を切り上げる、南面や東西の妻面に採光・換気のための開口部を設ける、などの変化が生まれた。



【八代家住宅母屋(昭和50年頃撮影)】

※切上屋根は昭和52年の半解体修理時に改修された

企画展「ほくと文化財の家」は8月2日(日)までの開催です! お見逃しなく!!(※7月20日~8月2日は無休)

かやぶんミニ★ニュース 火起こしにチャレンジしたよ!!

6月9日に、明野小学校6年生の児童が社会科の授業で埋文に来てくれました。



展示見学



火起こし体験

今回は見学だけでなく、火起こし体験もしました。火起こし体験では、舞きり式・弓きり式・錐揉み式の3種類の火起こし機を用意しました。(※)火起こしの方法は・・・火起こし機を素早く動かし、その摩擦で、熱を持った木くずを作ります。それを、ほぐした麻紐で包んで、上手に空気を送ってあげると火が点きます。縄文人は、それを木の枝などに点火して、料理などに使う火を起こしていたんでしょね。



指導員さんのお手本



火がついた!!

子ども達はペアで火起こしに挑戦しました。煙が出たペアはいくつかありましたが、火が点いたペアはほんの僅か。今は、ライターやガスレンジなどで簡単に火を点けられますが、火を起こす、というのはとても大変な、根気のいる作業だということが、実感できたと思います。

この日は参観日でもあったので、保護者の方もいらっしゃって、一緒に火起こしを体験されました。



※今回使用した火起こし機は南アルプス市教育委員会からお借りしました。ありがとうございます。縄文王国山梨の構成員館「南アルプス市ふるさと文化伝承館」が、6月13日にリニューアルオープンしました。みなさん、ぜひ遊びに行ってみてください!

小中学生対象イベント(参加費500円)

=ドキドキ! まいぶんシリーズ=

2009年 7月の予定～



★囲碁にチャレンジ!

はじめての子も、ベテランさんも集まれ～☆
日にち: 7月2日(木) 午後5時～7時

★手話をやってみよう!

クイズやゲームで、楽しみながら手話を覚えよう♪
日にち: 7月7日(火) 午後5時～7時

★みんなの畑作り

畑の収穫祭! 育てた野菜をおいしく食べよう!
日にち: 7月17日(金) 午後5時～7時

★Specialイベント! Let's縄文体験♪

目指せ縄文人! ミニチュア縄文土器を作ろう!
日にち: 7月25日(土) 午前10時～12時

ドキドキ! 埋文シリーズで、いろんな体験を楽しもう♪ 参加者申し込み受付中です!
お問い合わせは茅ヶ岳歴史文化研究所まで。

TEL/FAX: 0551-25-2019



お知らせ

参加費の回数券が出来ました!

一回ごとに参加費を支払うよりお得です!
詳しくはかやぶんまでお問い合わせ下さい。



=会員募集=

茅ヶ岳歴史文化研究所では、私たちと一緒に活動して下さる方、ご賛同いただける方を募集しています。

こんなことをやってみたい人は、ぜひ!

- 歴史や文化財の研究を通じて知識を深めたい
- 活動を通じて文化財保護や活用に役立ちたい
- イベントを通じてさまざまな人と交流したい

入会金: 1000円 年会費: 1000円

=編集後記=

「ほくと文化財の家」4軒の古民家の紹介、いかがでしたでしょうか。ご見学に行かれる際にはぜひ、古民家見学ポイントをチェックしてみてくださいね。歴史民俗資料館へのご見学もお待ちしています。

火起こし体験をした子ども達、普段何気なく使っている「火」を、自分の力で起こす大変さを感じとれたのでしょうか。火起こしの次には「器」作りにも挑戦! ドキドキまいぶんシリーズ「縄文土器作り」にも、参加してみてくださいね!

かやぶんかわら版 第51号

平成21年6月26日発行

特定非営利活動法人 茅ヶ岳歴史文化研究所(かやぶん)

〒408-0204 北杜市明野町上手8310
明野歴史民俗資料館内

TEL/FAX 0551-25-2019
ウェブサイト <http://www.kaya-net.jp>
E-mailアドレス info@kaya-net.jp